

報道関係各位

2025年9月26日

クラダシ、「サステナビリティレポート2025」を公開
～「ソーシャルグッドカンパニー」としての持続可能な社会への取り組みと
成果を開示～

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営する株式会社クラダシ(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:河村晃平、以下「クラダシ」)は、クラダシの2025年6月期のサステナビリティの取り組みをまとめた「サステナビリティレポート2025」を発行いたしました。



■サステナビリティレポート発行の背景

クラダシは、ミッションを「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」、ビジョンを「日本で最もフードロス削減する会社」と掲げ、持続的に社会課題の解決に取り組むビジネスを展開しています。フードロス削減を目指し、賞味期限が切迫した食品や季節商品、パッケージの汚れやキズ・自然災害による被害などが要因で、消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買取り、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」で販売することで、フードロス削減により「目標12: つくる責任 つかう責任」の達成に貢献するだけでなく、食品の廃棄時などのCO2排出削減にも貢献しています。

創業以来、売り上げの一部を災害支援や環境保護などの活動を行う社会貢献団体への寄付や、自ら創設したクラダシ基金(※)として活用して、フードバンクや子ども食堂への支援や、地方創生事業にも取り組んでいます。さらに、サービスを通じて削減できたフードロス量やCO2の削減効果などを開示するなど、持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っております。

本レポートは、クラダシのサステナビリティに関する方針や取り組みについて、株主・投資家、お客さま、取引先、従業員といったステークホルダーの皆さまに分かりやすく伝えるため、2024年7月～2025年6月にクラダシが取り組んできたさまざまな活動・施策・結果をまとめたレポートです。

※クラダシ基金とは

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために創設した基金で、「Kuradashi」における寄付先の1つです。地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられています。

クラダシチャレンジについて: <https://kuradashi.jp/pages/kurachalle>

■サステナビリティレポート2025の概要（対象期間：2024年7月～2025年6月）

▽サステナビリティサイト

URL: <https://corp.kuradashi.jp/sustainability/>

▽サステナビリティレポート

URL: <https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

▽報告内容

- ・トップメッセージ
- ・トップ対談（株式会社雨風太陽×株式会社クラダシ）
- ・クラダシが描くサステナビリティ
- ・ビジネスモデルとインパクト
- ・マテリアリティ
- ・環境に関する取り組み
- ・社会に関する取り組み
- ・ガバナンスに関する取り組み
- ・その他の非財務情報/会社概要

■サステナビリティレポート2025の注目ポイント

▽インパクトについて語るトップ対談

トップ対談

社会課題をビジネスで解決 ～クラダシ×雨風太陽が語る「インパクト」の真髄～

株式会社クラダシ
代表取締役社長CEO
河村 晃平



株式会社雨風太陽
代表取締役社長
高橋 博之様

雨風太陽
AMAKAZE TAIYO

雨風太陽は、「都市と地方をかきまぜる」をミッションとし、全国の生産者を媒介に、都市と地方をつなぐことで地域を持続可能にし、将来にわたって活力ある日本社会を残したいと願う会社です。複数の領域で都市と地方をかきまぜ、あいだをつなぐ「関係人口」を生み出しています。

2023年6月、株式会社クラダシは「インパクト上場」を果たし、国内におけるB Corp認証取得企業として初の上場として大きな注目を集めました。一方、NPOからスタートした株式会社雨風太陽も、2023年9月にインパクト指標を開示し、同年12月にインパクトIPOを実現しています。

今回、本記事では雨風太陽代表の高橋博之氏をお迎えし、当社の河村とともに、両社が考える「インパクト」とその実現に向けた取り組みについて、特別対談をお届けします。

——都市と地方を混ぜるビジネスで生み出すインパクト

河村 インパクト経営やインパクト投資という言葉が広がる中で、改めて「インパクト」をどう捉えていらっしゃるのか教えてください。

高橋 私たちにとってインパクトは、存在意義そのものです。雨風太陽は「都市と地方の分断」という大きな社会課題を、ビジネスの力で解決するために立ち上げました。そのために必要なのは「社会的なインパクトを生み出すこと」です。単にモノを売るのではなく、都市と地方を混ぜ合わせるほどの変化を起こす。それが私たちにとってのインパクトです。

マインパクト・価値創造モデル



マテリアリティに対する実績（インパクト指標）と取り組みを公開

マテリアリティに対する実績（インパクト指標）と取り組み

マテリアリティ	KPI／指標	2025年6月期 実績/施策
① ② ③	フードロス削減量 	29,627トン
	CO2削減量 	78,541 t-CO2
	経済効果 	144億円
	ユーザー数（会員数）	59万人
	出品企業数	2,100社
	支援金額	1.6億円
	クラダシ基金の活動	P.30～ 参照
マテリアリティ	KPI／指標	2025年6月期 実績/施策
④	各役職における女性比率	全体 62.7% 管理職 12.5%* 役員 28.5%
	平均勤続年数	2.9年
	育休取得率	100%
⑤	リスク管理体制	上場に応じたガバナンス強化 コーポレートガバナンスコードの対応 透明性の強化（四半期決算含めた適時開示体制の構築、株主総会、コンプライアンス研修、Kuradashi支援先入れ替え）

クラダシは今後も「ソーシャルグッドカンパニー」としての使命を果たし、レポートで公開した各種取り組みや指標をさらに深化・進化させ、持続可能な成長と社会的価値の創出に取り組んでまいります。

■楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」とは
Kuradashiは、楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケットです。
フードロス削減を目指し、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある食品などを、おトクに販売しています。
さらに、売り上げの一部を環境保護・災害支援などに取り組むさまざまな社会貢献団体への寄付やクラダシ基金として活用し、SDGs17の目標を横断して支援しています。
楽しくておトクなお買い物が、社会に良いことにつながる。そんな、全く新しいソーシャルグッドマーケットを創出しています。

URL: <https://www.kuradashi.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当: 齋藤 pr@kuradashi.jp

■株式会社クラダシについて

代表者氏名:河村晃平

設立:2014年7月

本社所在地:〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

URL:<https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」:<https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」:<https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr.つるかめキッチン」:<https://tsurukame-kitchen.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧:<https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのサステナビリティ】

- ・サステナビリティサイト:<https://corp.kuradashi.jp/sustainability/>
- ・サステナビリティレポート:<https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

【2025年6月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量:29,627トン
- ・経済効果:144億1,471万円
- ・CO2削減量:78,541t-CO2
- ・支援総額:168,849,985円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。